※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

超高齢社会を迎えて、私たちの日常生活に関わる福祉的な諸問題について考え、社会福祉の意義や役割について理解を深めていきます。１年生では、高齢者や障がい者などのすべての人々が生活しやすい地域社会を創造するために、必要な社会福祉に関する知識を学ぶとともに「福祉マインド」を育みます。

①日常生活の福祉的な問題に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり目標とします。

①社会福祉について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

②社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ科学的な根拠に基づいて、創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　社会福祉の理念と意義	第1編　社会福祉の理念と意義 第1章　生活と福祉 1　少子高齢化と人口減少に向かう日本 2　産業と地域社会の変化 3　家族と働き方の変化 4　疾病構造の変化 5　人の一生と社会福祉	a:超高齢社会を迎えた日本社会における私たちの生活の変化について、基本的な知識を理解している。 b:超高齢社会における福祉的な課題に対して、グラフやデータより論理的に考察し、表現することができる。 c:私たちの生活における変化に興味や関心をもち、生活課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
	第5編　地域福祉の進展と多様な社会支援制度	第5編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第2章　地域福祉の進展と地域の将来 1　つながりの再構築と社会福祉の役割 2　地域社会とボランティア 3　非営利組織の活動 4　福祉のまちづくりと地域社会 5　新時代に向けた社会福祉～地域共生社会の実現に向けて～	a:地域で生活しているすべての人々が心豊かな生活を送るための地域福祉やまちづくり、ボランティアの役割について、基本的な考え方や知識を理解している。 b:地域福祉の課題について新聞記事などを活用して、それぞれの地域住民の立場から多面的に考察し、表現することができる。 c:私たちの日常生活における福祉的な課題に興味や関心をもち、ボランティア活動への参加など、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート レポート	提出ノート 振り返りシート レポート 観察
2学期	第1編　社会福祉の理念と意義	第1編　社会福祉の理念と意義 第2章　社会福祉の理念 1　現代の福祉理念 2　日本国憲法と社会福祉 3　地域生活と社会福祉	a:日本国憲法を通じて社会福祉の理念について、基本的な考え方や知識を理解している。 b:日本国憲法の第１１条・第１３条・第１４条・第２５条の条文を読み、社会福祉との関わりを考察することができる。 c:事前学習として、日本国憲法の第１１条・第１３条・第１４条について教科書を使って調べ学習を主体的に行っている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

		第3章　人間の尊厳と新たな社会福祉の創造 1　人間としての尊厳 2　自立生活支援 3　新たな福祉社会の構築に向けて	a:人間の尊厳や自立した生活について、基本的な考え方や地域社会のあり方を理解している。 b:高齢者や障がい者などの自立生活の支援方法について事例などを活用して、当事者の立場から考察し、表現することができる。 c:地域の一員として、困っている人に対して主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 発表	提出ノート 振り返りシート 観察
	第5編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	第5編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第1章　多様な社会的支援制度 1　医療提供体制のしくみ 2　特別支援教育の制度 3　特別支援教育の実際 4　司法と福祉の連携 5　権利擁護と成年後見制度	a:私たちが生活していくうえで必要な社会的な支援制度について理解している。 b:高齢者や障がい者の困っていることに応じた社会的な支援制度について、当事者の立場から考察し、表現することができる。 c:将来、福祉に携わる人材として、福祉に関する社会的な支援方法に興味や関心を持ち、高齢者や障がい者に応じた支援制度について主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	第3編　生活を支える社会福祉・社会保障制度	第3編　生活を支える社会福祉・社会保障制度 第1章　社会保障制度の意義と役割 1　社会保障制度の意義と役割 2　社会保障の各制度の概要 3　社会保障制度を推進する機関	a:私たちの生活を支える社会保障制度の意義と役割、その制度を推進する機関について、理解している。 b:社会保障制度における課題について多角的に考察することができる。 c:社会保障制度に関して興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
		第2章　子ども家庭福祉 1　少子化時代の子ども子育て支援 2　児童相談所と市町村の役割 3　子ども支援と保育 4　子どものすこやかな成長に向けて 5　子どもの貧困と児童虐待への対応	a:児童および家庭を支える社会福祉サービスについて理解している。 b:児童福祉における課題について新聞記事などを活用して、当事者の立場から考察し、表現することができる。 c:児童福祉に関して興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用